

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	14	バイオマス資源の利活用	予算科目	会計	款	項	目	担当班	畜産班
施策体系		基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	—	—	—	—	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
		施策の展開	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	4	バイオマス資源の利活用				
		施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		堆肥化施設等の整備を畜産農家に促し、家畜排泄物を活用した資源循環型農業の推進を行った。 家畜排せつ物施設補助事業実施後(施設整備後)においても、補助事業実施者を対象に計画通りに良質な堆肥等が生産されているか年度毎に施設稼動状況調査(事業実施後から5年間)を行う。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
家畜排泄物を地域の田畑へ堆肥として有効活用すべく事業開始した。現在は、各種補助事業で整備した堆肥化施設等の稼動状況を調査し、資源循環型農業の推進をしている。		現在、堆肥を農地へ投入し、そこでとれた飼料作物を家畜へ給与するといった循環型農業を構築している畜産農家が増えている。	家畜糞尿の不適切処理がなくなったという声があがっている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
			千円					
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)	0	0	0	0	0
1.国庫支出金	0		1. 国庫支出金	千円				
2.都道府県支出金	0		2. 都道府県支出金	千円				
3.地方債	0		3. 地方債	千円				
4.その他	0		4. その他	千円				
			5. 一般財源	千円	0	0	0	0

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 20 日 = 延べ 20 人

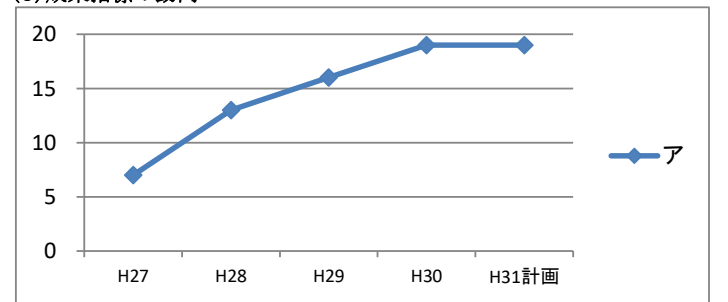
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	ア 施設稼働状況調査	件	2	1	11	14	14
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ						
	対象 畜産農家 意図 資源循環型農業を構築できる 対象 意図	ア 補助金を活用して建設した堆肥化施設数(累計)	棟	7	13	16	19	19
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果						
		成果向上余地			コスト比率				
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3		
施策貢献度	大きい				評価結果 成果優先度	①			
	普通			⑦		②			
	小さい					③			
						④⑤			
				⑥					
				⑦⑧		(7)			
				⑨					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)					
	③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
		随時	例年どおり実施	随時	例年どおり実施	